

# 山田としお 国政報告



第5号 [平成22年5月発行]

〒100-6826 東京都千代田区大手町1丁目3番1号  
TEL 03-3286-3924 FAX 03-3286-3929  
(山田としお後援会)



**政治はかくも弱くて怖いのか**  
政局は混迷の度を深めています。普天間基地の移設問題に象徴されるように国政の基本である安全保障問題で鳩山総理の腰が定まらず、小沢幹事長の政治資金問題でもけじめがつかないままです。世界的な金融危機が再燃し、国内では景気対策、財政再建、雇用不安など深刻な経済問題があるのに政治の手が及んでいません。  
選挙対策ばかりを最優先している民主党政治の底が透けて見え、概

嘆せざるを得ない状況にあります。  
**展望が開けぬ基本計画**  
農業・農村政策でも同様に、民主党農政は地に足がついていません。政府は3月末に新しい食料・農業・農村基本計画を閣議決定しましたが、多くの項目で「検討する」との記述にとどまっています。  
新基本計画では「兼業農家や小規模経営を含む意欲あるすべての農業者が農業を継続できる環境を整備する」としながら、他方では「効率的かつ安定的な農業経営が、

## 地域と農業を守る政治を取り戻そう

より多く確保されることを目指す」とするなど、相反する原理を盛り込んだ「ダブルスタンダード」となっており、戸別所得補償制度の全国一律単価設定や過剰米対策の欠如による米価暴落な構造改革につながる恐れがあります。  
**許せない農業・農協攻撃**  
もう一つ、我慢できない、そして怖い動きがあります。それは内閣府の行政刷新会議が「規制・制度改革に関する分科会」を設け、その中の「農業ワーキンググループ」で農業農協攻撃を始めたことです。委員には市場競争原理で農協批判を主張して止まない人を選び、テーマは農協に対する独占禁止法の適用除外の見直し、金融庁検査・公認会計士監査——

参議院選挙を間近に控えて二人でも多く、農業と地域に理解のある議員を国会に送り出さねばなりません。  
参議院選挙を間近に控えて二人でも多く、農業と地域に理解のある議員を国会に送り出さねばなりません。

### 食料・農業・農村基本計画

**基** 本計画は冒頭の「まえがき」の部分で「食料・農業・農村政策を日本の国家戦略の一つとして位置付け」「国民全体で農業・農村を支える社会の創造を目指す」などと明記し、農業を支援する世論づくりの必要を訴えている点は、これまでも自民党が主張してきたところであり評価できます。

しかし食料自給率目標50%達成への道筋となると、戸別所得補償制度の創設や農業の6次産業化などを列挙しているだけで、この15年間で半減してしまった農業所得の増大目標すら描けていません。しかも、畜産・酪農や野菜・果樹の生産目標は据え置きのみで農家の意欲を奪いかねず、また、地域農業の振興に大きな役割を果たしている農業団体を批判する文言を盛り込んでいることなど、問題です。

### 真の直接支払いを目指す

**自** 民党は適地適産を基本にして、米だけでなく畜産や野菜、果樹などを複合的に取り組む農家や法人、集落営農など、地域の実態を踏まえた多様な担い手を支える経営所得安定対策をつくりあげます。また、農林業の持つ多面的機能を評価した日本型直接支払い制度の創設を目指します。

### 1人でも多くの仲間を国会へ

**政** 権交代で私は野党議員になりましたが、これまでと変わらず農業者の切実な要求を堂々とぶつけ、真剣勝負をしていく決意を前号で「作物は育ち、牛は子を産み牛乳を出す、鶏は卵を産む。作物も動物もどちらが与党で野党か知る由もありません」と述べたところ、「その通り」とする励ましの声をたくさん頂きました。  
農村で加速する高齢化、担い手

## 山田としおの 真剣勝負



私に対するご意見等ありましたら、ホームページの「ご意見・ご声援」欄を活用してお寄せいただければ幸いです。ホームページには「山田の近況」や「メールマガジン」も紹介されています。<http://www.yamada-toshio.jp/> のアドレスから簡単に入れます。

### 予断許さぬ規制・制度改革

**私** は農業に市場競争原理を一方的に導入する政策に一貫して反対してきました。前政権の規制改革会議が取り上げた「農協に対する独占禁止法の適用除外条項の見直し」や「農協に対する金融庁検査・公認会計士監査の実施」「農協からの信用・共済事業の分離」など、協同組合活動の根幹を揺るがす規制改革をJAグループの皆さんとともに、断固として阻止してきました。

ところが民主党政権の行政刷新会議は、決着しているはずのこうしたテーマを改めて蒸し返し、規制改革推進派の多くの委員を再任させ、さらに意図的に農協攻撃の急先鋒に立つ新任委員も加えて「規制・制度改革に関する分科会」を3月に設置し、6月までにとりまとめを行うとしますが、とんでもないことです。まさに参議院選挙を前に農協攻撃の意図

不足、農産物価格の低迷、最近ではわが国への口蹄(こうてい)疫の波及など一刻を争う農政課題が山積する中で、民主党政権は有効な手立てを講じていません。

今こそ、地域づくりや農政について真剣に議論し、一緒に行動できる1人でも多くの仲間が国会に必要なことを痛感しています。私の友人で生粋の農業者である元全国農協青年組織協議会会長の「もんでん英慈」さんを国政の場で活躍させていただきたい。心より念願しています。

が明らかです。政治は権力を持ったらこんな怖いのかと感ぜずにはいられません。

私は決算委員会で質疑に立ち、農協批判を繰り返している委員が「(信用・共済事業分離などのテーマについて)こういう項目が議論に挙がったということがいろいろな人に対してインパクトを与えると思うんですね。それに多分脅威を感じる人もいると思うんですね」と脅迫ともとれる問題発言を取り上げ、担当の大塚耕平内閣府副大臣の「誤解を受けるような発言は厳に慎むよう徹底する」との答弁を引き出しました。



元全国農協青年組織協議会会長の「もんでん英慈」さんが、農業者の声を国政に届けるための政治活動を始めました。問い合わせ先は以下の通りです。

**もんでん英慈後援会**  
〒101-0047  
東京都千代田区内神田3-4-13  
OK内神田ビル  
TEL 03-5256-0715  
ホームページ  
<http://www.monden-eiji.jp/>